

助動詞基礎A-2

☆ “be able to ~” ①

I can speak Chinese .

I am able to speak Chinese .

I could swim very fast .

I was able to swim very fast .

※ 助動詞 “can” は “be able to ~” という表現に置き換えられる。(中学の基本英文法で)

※ 助動詞の “can” は「やれと言われればいつでも出来るよ・やるよ」と積極的な気持ちを表すのに対して、“be able to” は「それをする能力を持っているよ」と事実のみを表している。

※ したがって過去形の “could” は「やれと言われればできた」という意味(主観)になり、本当に(客観的に)「できた」とときには “was able to” で表現しなければならない。

※ 英語では、<可算・不可算> , <能動・受動> , <主観・客観> は明確に区別される。

1, 次の英文を、意味の違いを気にせずに “be able to ~” の表現を使って書き換えなさい。

① I can read five books in a week .

.....

② They could swim very fast two years ago .

.....

③ He could drink hot milk in his childhood .

.....

④ We can read these books very easily .

.....

⑤ She could write a letter to her mother then .

.....